

にいがた
東奔西走

にいがた酒蔵めぐり 第20回

尾畑酒造株式会社 佐渡市

◆ 今年創業120周年の節目

銘酒「真野鶴」で知られる尾畑酒造は、佐渡の真野地区にある。佐渡は金の採掘で栄えた歴史もあり、明治初期には200以上の酒蔵があったと言われている。とりわけ、真野地区は、良質な水に恵まれていたことから、酒造りが盛んであった。尾畑酒造は、1892年（明治25年）に、江戸時代より続いていた酒蔵を譲り受ける形で創業。今年120周年の節目を迎えている。



酒蔵外観 蔵見学にも多くの人を訪れる

◆ 酒造りのモットーは「四宝和醸」

酒造りのための大事な要素は、「米」「水」「人」と言われている。尾畑酒造では、これに「佐渡」を加え、「米」「水」「人」「佐渡」の四つの宝の和をもって酒を醸すという意味で「四宝和醸」という言葉を作り、酒造りのモットーとしている。

この言葉は、尾畑家の家紋である「四つ目」にも通じ、すべての要素を十分に生かしたバランスの良い酒造りを追求している。

「米」は、地元佐渡産にこだわり、旧羽茂町の山間部で収穫される「五百万石」、契約栽培の「越淡麗」（右ページ参照）を中心に品質の高い米を多く使用している。

「水」は、地中70mより湧き出す地下水を使用。その水質は軟水であり、淡麗で口当たりの柔らかな酒を醸すのに最適な材料となっている。

「人」は、尾畑酒造では、杜氏をはじめとして蔵人は若手を中心となっている。現在でも、冬期間は完全泊まり込みによる早朝仕込みを実践するなど、手間暇を惜しまない伝統的な酒造りを守り続けている。

最後に加えられる「佐渡」は、「米」「水」「人」を育むのは佐渡の自然風土、郷土であり、尾畑酒造では、日本酒はその土地が育てるものであると捉えて、佐渡の気候風土や食文化を意識した酒造りを心掛けている。



若い蔵人が酒造りに情熱を注ぎ込む

◆ 佐渡の魅力を伝える酒造り

2011年6月に、日本で初めて「世界農業遺産」に認定された佐渡では、環境保全活動が盛んに行われている。

酒造りの要素の一つに、地元の自然風土である「佐渡」を掲げている尾畑酒造も、環境に配慮した取り組みを行っており、減農薬・減化学肥料による酒米の契約栽培を進めている。

同社の平島社長は、「醸造地である佐渡の自然環境を考慮した活動に力を入れていきたい」「環境保全を進める佐渡の特徴を活かして、佐渡ならではの日本酒を造り、佐渡の素晴らしさ、土地の魅力を伝えていきたい」と語る。

● 商品紹介



●「真野鶴 大吟醸 万穂」
華やかな香りとまろやかさ、そして透明感のある飲み口は、まさに和酒の極み。一面に広がる稲穂の黄金色の絨毯を思わせる優雅な味わいです。
お料理をより華やかに演出します。



●「真野鶴 辛口純米酒」
すっきりとして、キレのある爽やかさ。日本酒度+15以上という日本有数の超辛口純米酒。
魚料理にもよく合います。



●「真野鶴 辛口<鶴>本醸造」
すっきり軽快な辛口。お燗でもなめらかでキレのある味わい。和食全般によく合います。



●「真野鶴 純米吟醸 朱鷺と暮らす」
佐渡市の「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」制度に則り、減農薬・減化学肥料にて栽培された「越淡麗」を100%使用。香ばしい吟醸香が口に含むと優しく広がります。

自然との共生を目指す米作りと酒造り

2008年に朱鷺の放鳥が開始されて以降、佐渡では、野生の朱鷺との共生を図るため、環境保全活動が積極的に進められている。

朱鷺の生存には、餌となる生物が豊富に生育する水田が不可欠である。そのため、佐渡市では「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」と呼ばれる独自の認証制度を設けて、減農薬・減化学肥料による米の栽培と、朱鷺の餌となる生物が水田とその周囲に生息しやすい環境の整備を推進している。

尾畑酒造では、このような動きの中、酒造りでも自然との調和を図っていくため、原料となる酒米にこだわり、徹底した減農薬栽培を行っている農家と提携している。

提携相手は、「佐渡相田ライスファーム」。代表の相田氏は、水田に引く用水を牡蠣殻に通すこと

で微生物の力を引き出す「牡蠣殻農法」と呼ばれる手法を独自に編み出して、減農薬栽培を行っていることで知られる。

同氏によって生産されたコシヒカリは、その優れた品質から数々の賞に輝いている。



相田氏と尾畑酒造は、2008年から牡蠣殻農法を用いた減農薬・減化学肥料による酒米（「越淡麗」）の栽培に挑戦。環境に優しく、かつ、酒造りに適した高品質の酒米作りを進めている。

尾畑酒造では、今春、減農薬・減化学肥料で栽培された越淡麗を100%使用した日本酒「真野鶴 純米吟醸 朱鷺と暮らす」（商品紹介欄参照）を商品化。同商品は、自然との共生を目指す佐渡ならではの清酒として注目されている。



 真野鶴 尾畑酒造株式会社

〒952-0318 新潟県佐渡市真野新町449
電話：0259-55-3171（代） FAX：0259-55-4215
<http://www.obata-shuzo.com>